

協会ニュース 300号記念誌

2022(令和4)年6月

NPO 法人堺観光ボランティア協会

歴代広報部長

初代	広報部長	塩田 精
第二代	広報部長	野村 耕平
第三代	広報企画部長	呉竹 正
第四代	広報部長	瀬島 正司
第五代	広報部長	小寺 諒一
第六代	広報部長	長江 幸代
第七代	広報部長(現)	川上 由

記念誌 インデックス (目次)

歴代号のタイトル	2	2005 年 10 月号 第 101 号	10
歴代広報部長コメント		2005 年 12 月号 第 103 号	11
第三代広報企画部長 呉竹 正	3	2009 年 9 月号 第 148 号	11
第四代広報部長 瀬島 正司	4	2009 年 11 月号 第 150 号	11
第五代広報部長 小寺 諒一	5	2009 年 12 月号 第 151 号	12
第六代広報部長 長江 幸代	6	2014 年 2 月号 第 201 号	13
過去の記事		2018 年 4 月号 第 251 号	14
1997 年 5 月号 創刊号	7	2019 年 8 月号 第 267 号	15
1997 年 7 月号 第 3 号	8	現広報部員写真	16
1999 年 11 月号 第 30 号	8	編集後記(第七代広報部長 川上 由)	16
2001 年 8 月号 第 51 号	9		

歴代号のタイトルです

これが創刊 1 号のものです

堺観光ボランティアニュース 5 月号

H9.05.23(金)
堺観光ボランティア協会 会長 詔 陸司

堺観光ボランティアニュース

堺観光ボランティア協会

平成 13 年 7 月 25 日

8 月号 (51 号)

会長 吉良隆司

堺観光ボランティア協会ニュース

平成 17 年 10 月号 (101 号) 平成 17 年 9 月 26 日発行



NPO 法人

堺観光ボランティア協会ニュース

12 月号 (通算 151 号)

2009 年(平成 21 年) 12 月 1 日発行

発行所: NPO 法人 堺観光ボランティア協会

理事長 高三 壽次郎

〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-24

(博愛ビル 1F) Tel & fax 072-233-0531

e-mail: sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

URL: <http://www7.ocn.ne.jp/~sakaikvk/>



NPO 法人

堺観光ボランティア協会ニュース

4 月号 (通算 251 号)

2018 年 (平成 30 年) 4 月 1 日発行

発行所: NPO 法人 堺観光ボランティア協会

理事長 川上 浩

〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29

(瓦町ウエビル 4F)

Tel & Fax: 072-233-0531

e-mail: sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

URL: <http://www.nposakai.org>



NPO 法人

堺観光ボランティア協会ニュース

5 月号(通算 300 号)

2022 年(令和 4 年)5 月 25 日発行

発行: NPO 法人堺観光ボランティア協会

理事長 山田 豊秋

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 2-1

堺市民活動サポートセンター内 (堺市総合福祉会館 2F)

TEL&FAX: 072-233-0531

e-mail: sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

URL: <http://sakai-kanbora.org/>

観ボラ ロゴの誕生秘話

【第三代部長 呉竹 正】

平成 17 年度から広報企画部を担当させていただいた、4 期生の呉竹 正です。

NPO 法人堺観光ボランティア協会ニュース第 1 号は平成 20 年 4 月 1 日号 (通算 131 号)。ロゴマーク入りで華々しくデビューしました。ロゴマークデザインは元協会員 Y さんの友人の専門家にお願ひしました。デザイン料は 3 万円だったと記憶していますが、未来に残るものだからと先行投資でした。いまや、堺が誇る世界遺産になった仁徳天皇陵古墳と、現存場所に残っているものでは日本一古い木造建築の灯台をデザイン化したものです。今もなお健在です。



広報誌は当初手書きでした。平成 8 年 10 月入会の私と同期である S さんが始められました。平成 10 年に N さんに引き継がれた時からパソコン導入となり、私もお手伝いをしました。平成 17 年に広報企画部になった時から NPO 法人立ち上げまでは部長を担当し、ロゴの選定にも立ち会いました。その後、S さんにバトンタッチ、さらに K さんに代わられてからも、ずっと校正のお手伝いはさせていただきました。

協会 10 年の歩み、堺観光ボランティアの 20 年などの記念冊子に歴代部長の苦労話が掲載されていますが、毎月毎月 1 号も欠かさずに発行されている裏側では、並大抵の苦労や工夫を重ねて来られた様子をうかがい知ることができます。でも、その苦労をいとわず続けてこられたのは、とてもやりがいのあるお仕事ですし、読者の皆さんや、投稿者の皆さんのご協力と声援のおかげと感謝しています。新しい世代の方々もきっと同じ思いで引き継いでくれているものと確信しています。

どうか今後ともよろしくお願ひいたします。

在任期間頃の主な出来事



NHK「冬のソナタ」韓流ブーム
(2004 年)



イナバウアー荒川静香
トリノ五輪で金メダル
(2006 年)



新紙幣発行 福沢諭吉、
樋口一葉、野口英世 (2004 年)

そのほか、2004 年：イチローメジャー大記録 (シーズン 262 安打)

2005 年：電車男、JR 福知山線脱線事故、萌え～(オタク用語)、クールビズ

ボランティア協会ニュース発行の思い出

【第四代部長 瀬島正司】

平成 17 年に理事になったときは、広報部に属しボランティア協会ニュースの発行、特にパソコンによる原稿の入力を担当しました。しかし、パソコンが得意とは言えないため大変苦労しました。

そんな苦労の間に、広報部長を任せられ、発行もしなければならなくなりました。こうなると、原稿集めが大変な問題となりました。初めは、誰にどのように頼めば良いのかわからず、同期の皆さんや、いくらかでも馴染みになった方に頼んでみましたが、簡単ではありませんでした。仕方なく、自分で書いたものの、自分の名前ばかり並べることもできず、「呉竹さん、名前を使わしてください。」とか「野澤さん、名前を借ります。」等と言って紙面を埋めていました。

そんな時、平成 16 年入会の村田信彦さんが、原稿を書いてくれるようになりました。彼は、自分のメモを持っていて、その中から適切な項目を提出してくれていたのです。いわゆる「村田 memo」は、村田さんが長年にわたり、聞いたり読んだり調べたりした堺の歴史、エピソード、ちょっとした出来事などをたくさん収集し、自分流でまとめたものでした。そのうちに、その memo を書いた大学ノートを渡していただき、適当に利用してもいいよと言って任せられました。これは大変役に立ちました。

その後、平成 14 年に同期入会した楠本幹子さんからも寄稿するとの嬉しい申し出がありました。第 1 回は、平成 19 年 9 月号でした。この記事は、平成 21 年 10 月号まで続きました。その間、彼女へのプレゼントを兼ねて、私のパソコン技術の向上を目指して、製本形式でまとめてみました。そして、連載終了後、手渡したところ、大変に喜ばれました。こちら、パソコンに慣れて使いやすくなり、嬉しく感じました。

ところが、今度は、第 1 期入会の大先輩、太田美都子さんの登場です。彼女は、かなり以前からこのアイデアを温めていたのか、積極的に記事の提出をして下さいました。阪堺電車沿線を細かく取材し、紹介する記事でした。それまでも、いろんな記事をタイミング良く寄稿され、さすが、大先輩と感心していたものでした。以前から温めていただけでなく、記事に合わせて再三現地を探查したとのことでした。この記事は、平成 23 年 7 月号に始まり、平成 26 年 7 月号で終了しましたが、その後も関連記事をたくさん寄せていただきました。

私のほうも、楠本さんの記事で鍛えた腕で、またまた製本風のものを作成しました。太田さんにも大変喜ばれたことは申すまでもありません。これは、その後広報部長になった長江さんの手で製本され、全会員に配布されました。



在任期間頃の主な出来事



郵政民営化 (2007 年)



ゲゲゲの女房 (2010 年)



FIFA 女子ワールドカップ
なでしこジャパン優勝(2011 年)

堺の歴史と文化を学びたいと思い、平成 19 年に入会しました

【第五代部長 小寺 諒一】

初めての研修は仁徳天皇陵古墳で坂東さんからレクチャーを受けました。次いで市役所展望ロビーでは瀬島さんがコーチで、その時、広報部へ来ないかと誘われ、まずは協会ニュース作りの仕事に携わることになりました。協会ニュース関係の仕事は、ひと月前の広報部会で翌月号の紙面づくり打ち合わせ、全体の構成が決まったら原稿集めになりますが、協会スタッフに頼むのはそんなに難しいことはありませんが、外部の方をお願いするには難儀することもありました。でも、このことで役所内部のことがわかったり、観光部の方との顔繋ぎが生まれて、のちのち観ボラの業務をしていくうえで助かるようになりました。紙面作りでは「情報を正しく、わかりやすい言葉で表現する」を念頭において、内容にも十分吟味をして編集しますが、間違いのないよう何回も何人かのスタッフで確認をします。協会ニュース発行の作業日には、広報部スタッフ総出でニュース作りに当りますが、その時、事務所に居られる方々にも手伝っていただきました。



広報部へ入会后、2012 年に広報部長職に就き、以後事務局長に転任するまで、チームの仲間と楽しく仕事できたことはボランティア活動の糧になっています。当初は、ニュース用の紙が準備されていなかったり、束ねるのにホッチキスの針が通らなかったり、ニュース印刷の日には印刷機を独占しますから印刷しようとする他部門の方に迷惑をかけたり、事務所のスペースも広くとって、業務に支障をきたすことなど、問題も多々あり、広報部会においてニュース制作～発送に至るまでの作業手順をスケジュール化しそれぞれ担当を決めて対応しました。

協会の情報や観光に関係する資料を集め、ニュース誌面で公表し、会員のみならず協会関係先へもお知らせすることは大変な労力が要りますが、このことをよく理解できたらスタッフのニュース作りへの意欲も向上し、やり甲斐も出てきたように思います。出来上がったニュースを会員や外部配布先の方々にお届けできた時はうれしくもあり、楽しくもあり、全て終わったあとは気持ちよくそれぞれが帰宅につきました。物事を完成させるのに自分ひとりでは出来なくていろんな人の手を煩わすことは難しいことですが、このことはビジネスにおける経験が役に立っています。男女老若分け隔てなく、得意をされることを聞き出してチームをまとめていくことがリーダーの役目です。後継者を育てあげて引き継ぎを済ませる。「継続は力なり！」と。こうして思い起こしながら当時のことをあれこれと振り返ってみますと、広報部長をしていた時が一番充実していたんじゃないでしょうか。

在任期間頃の主な出来事



iPS 細胞 山中伸弥教授
ノーベル医学・生理学賞
受賞 (2012 年)



あべのハルカス開業(2014 年)



五郎丸ポーズ (2015 年)

広報部長は私でよかったのかしら・・・

【第六代部長 長江 幸代】

私が広報部を担当することになったのは約 6 年前ですが、今思い出すと悲喜こもごも、様々な感情が入り交ざってきます。

何も知らない、何もできない私がよくもまあ引き受けたものだ、考えのなさに自分自身に呆れてしまいます。すでに部としての形が出来上がったところに、新人でもない私が入り込んできたのですから、広報部の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけしたと思います。歴代の広報部長さんが築き上げたものを更にレベルアップしていこうとしていた部員たち。正直「えらいここに来ちゃった・・・」と感じていました。しかし、そんな感情に流される暇もないくらい、1 か月、また 1 か月と日々を送っていったような気がします。



そのころ、「百舌鳥古墳群を世界遺産に」というムードが徐々に高まっていったのですが、2 年連続推薦成らず、7 月頃には自作の号外をそっとゴミ箱に捨てた記憶があります。

2017 年 7 月 31 日国内推薦決定、そして待ち望んだ 2019 年 7 月 6 日、完成したばかりのフェニーチェ堺大ホールで衛星中継を多くの堺市民が見守る中、ユネスコ世界遺産委員会で登録決定！ 観ボラ会員の仲間と一緒にゴールドシャワーを浴びた瞬間は、今でも忘れられない一コマです。バンザイバンザイと声を出しながらカメラのシャッターを押したのを覚えています。その一枚は、協会ニュースのトップページを飾りました。(p.15 参照)

その後の広報部会でハッと気づき、慌てて「世界文化遺産登録 百舌鳥・古市古墳群」の特集号を出版。バタバタの作業でしたが、その行程で、多くの方々にご協力いただきました。宮内庁書陵部の方、藤井寺市・羽曳野市の世界遺産推進室の方々から投稿、歴史文化都市推進室・室長（現在の世界遺産課の前身）から原稿と素晴らしい写真の数々、堺市博物館学芸員さんへ「登録の意義」という難しいお題をお願いしたり、会員の T さんには、まとめた貴重な資料を提供していただいたり、他にも多数の方々のお力がありました。申し訳ないのですが、きちっとお礼を申し上げたかどうか、記憶が定かではないのです。改めてご挨拶に行きたいくらいです。また何といても、堺市長に就任されたばかりの永藤市長にインタビューさせていただき、当時の観ボラ理事長と少々興奮気味で帰ったのを思い出しました。

この記事を書くにあたって、自分を振り返る良いきっかけを作っていただいた広報部さん、ありがとうございます。今後も微力ながら応援していきます。

在任期間頃の主な出来事



ポケモン GO(2016 年)



将棋ブーム・藤井聡太(2017 年)



ラグビーワールドカップ(2019 年)

堺観光ボランティアニュース 5 月号

H9.05.23(金)
観光ボランティア協会 会報 諒 顧



会長ごあいさつ

会長 吉良 隆司

当協会も設立以来、早 3 年目を迎えました。会員皆さんの日頃の諸活動に対するご協力にあらためて御礼申し上げます。

おかげさまで協会の諸活動も徐々にではありますが世前に認められ、かつ高い評価をいただきつつあります。

本年度は特に発足時の原点を再確認して、全員個々が、より多くの活動に参画することによって、実り多いものにしていきたいと思っています。

私たちが起こした新しい街づくりのエネルギーを何時までも持続し、更に発展させるため、広報発信と観光案内の分野を強化いたします。秋には「堺まつり」の実施を中心に「なみはや国体」の開催も控え、新しい活動分野が広がります。

今後是非共積極的な活動への参加を、お願いいたします。

以上



専門部ニュース



総務部ニュース

① 新しく出発

4 月 25 日に皆様のご協力により、平成 9 年度総会も無事終えましたことをお礼申し上げます。

新しく広報部、ガイド部を設け、これからも充実した活動を目指したいと思っておりますので、ご協力方よろしくお願ひ申し上げます。

② 森田先生を顧問に

4 月の理事会において、郷土史家の森田先生を当協会の顧問にお迎えし、観光や研修に関するアドバイスを頂くために、全員一致で決定し、ご多忙中の先生にお願ひ申し上げたところ、お受け頂きましたので、ご報告いたします。

③ 春の叙勲に輝く

全員の炭田洋一さんが本年度春の叙勲に輝やめました。現役時代の功績に対し「勲四等瑞宝章」を受章されました。おめでとうございます。協会では祝電を打電すると共に、会明通り祝金をお贈りしました。今後共健康に留意されることをお祈り申し上げます。

④ 堺市長と懇談

5 月 15 日 午前 9 時 30 分から 20 分前にかたり、幡谷市長と役員・常任理事 8 名が、観光ボランティアに関する活動状況、要望事項を申し上げます。市長からは 私たちに活動の理解と励ましの言葉を頂きました。富田経済局長、天野観光コンベンション協会専務理事、平田幸福局長が同席されました。

〈記念号発行に当たって〉

上記は記念すべき第 1 号の表紙です。協会設立 3 年目に発行されています。手書きの原稿をコピーしていたそうです。

集まった原稿をハサミ・糊で切り貼りして完成させていたとのこと。この年に正式に広報部が発足しました。

(1/4)



広報部ニュース

『観光ボランティアニュース 7月号・第3号』は皆様のご協力によりお届けすることが出来ました。ありがとうございます。

これまで 暗中模索ぞ進めてきましたが、経験したことにもとずき第3号発行を機として「プロムナード」櫛の現状報告なり、お願いなりを致したいと思ひます。担当 藤原 塩田 ぞす。

- ♥ 投稿状況 = スタート時 心配していましたが、たくさん寄せられうれし悲鳴もあげています。ガイド活動、研修会参加ぞ 感動した気持を伝えてみたいとの高まりの現われと思ひます。このムードを大切にし心あたたまる「ニュース」にしようぞは ありませんか
- ♥ 投稿方法 = 投稿しやすくするため、「原稿用紙」と「投稿袋」を 3ヶ所 ~ 堺東1C、堺駅西口1C、事務局 ~ に置けます。(1C=情報センター)
- ♥ 投稿内容 = ボランティア活動を通して心あたたまったこと 感動したこと、ちょっとした工夫、提案したいことを中心にお願ひします。またご都合でお休み中の方も 勇気を出して いろへな思ひのほどをお寄せ下さい
- ♥ 投稿要領 = 用紙は 備え付けてあるような原稿用紙 (20字×20行 横書) をお便り下さい。字数は文章の場合 200字前後、多くの人を考えられているぞす。特例もありますので 事前に相註して下さい。俳句、川柳、短歌の場合 1~2首、心境を 50字以内にお収めて下さい。締切は毎月10日ぞす。よろしくね。

〈記念号発行に当たって〉

上の記事は第3号 (1997年7月) ぞす。

当時の原稿の集め方、編集の仕方がわかります。

〈記念号発行に当たって〉

下の記事は第30号 (1999年11月) ぞす。

配置の組み方はハガキを使つての集計ぞした。



事業部ニュース

① 配置当番申告ハガキの記入要領について

会員が 100人 近くになり、配置表作成が煩雑になつて考りました。記入方法に かなりバラツキが 目立つて来たので、新入会員を 迎えたこの時期、記入法も統一することにしました。

- (1) 可能日に 〇のみ記入して下さい。
- (2) 投函は 従来通り、15日迄にお願ひします。
- (3) 配置場所は やむを得ない場合以外、なるべく指定しないで下さい。
- (4) “10月号 理事会ニュース”に 記載しましたが、やむを得ず日時を変更する場合、会員相互ぞ 交替し、必ず事務局に報告して下さい。
交替相手が見つからない場合、事務局に その旨電話して下さい。
- (5) パンプ配布希望 又は 出来ない方は その旨 通信櫛に記入して下さい。そして 配布日 (月・金のAM) に 〇を して下さい。



堺観光ボランティアニュース

堺観光ボランティア協会

平成13年7月25日

8月号 (51号)

会長 吉良隆司

総合企画部ニュース

*今後の活動について

1. 博物館情報センター業務マニュアル作成。
2. 仁徳陵周辺・大道筋界限・大浜公園界限。イラスト、ガイドマップの作成。
3. 大仙公園を中心とするスポットガイド、マニュアル作成。
4. 狭山池博物館(大阪狭山市)の見学会実施。※下記をご参照下さい。
5. 総合点検活動は12月初旬に実施の予定。

*大阪府立狭山池博物館の見学について

今年3月28日にオープンした府立狭山池博物館の見学会を、下記の通り実施致します。総合企画部が企画立案し、研修部とガイド部の協力により実施するものです。

実施日時：平成13年9月13日(木) 13時15分 現地集合

場所：南海高野線 大阪狭山市駅下車 徒歩約10分

☆その他、詳しいことについては、ボランティアニュース9月号でお知らせ致します。

事業部ニュース

*御堂筋パレード参加のお願い

今年も9月30日に御堂筋パレードが行われます。内容はまだ決定して居りませんが大体昨年どおりと思われます。ご協力頂ける方は9月配置予定ハガキに○印をお願い致します。

日時：平成13年9月30日(日) 午後1時～4時位

場所：御堂筋 淀屋橋から難波府立体育館までパレード

行事：南蛮衣装着用の上 横断幕・旗などを持ってパレード

人員：20名の予定

☆詳細決定は9月中頃になりますので、決定次第お知らせします。



*堺の電話番号が大都市型に

ご承知のことと思いますが、堺市の市外局番が7月20日から、0722局に0723局が統一されて072局となりました。4桁の市外局番が3桁になったわけです。その代わりに2桁だった市内局番が、そのあたりに市外局番の末尾“2”を加えて3桁となります。よく見ると市外局番の末尾が市内局番のあたりに移動しただけで、番号の総数に変わりはありません。

ということで市外から市内へ電話するときは従来通りですが、市内同志ですと最初に必ず“2”を付け加えることとなります。わかりきったことですが、つい忘れて掛け直すことが度々です。聡明な皆さんはこんな事はないと思いますが。

編集部

〈記念号発行に当たって〉

49号からはパソコンで作成されています。

あの御堂筋パレードにも参加していました。電話番号の変更も懐かしい話です。電話のイラストも時代がわかります。



堺観光ボランティア協会ニュース

平成17年10月号 (101号) 平成17年9月26日発行

〈記念号発行に当たって〉

協会全般でIT活用の志向です。

また、インバウンドへの対応も迫られていたようです。

定点の場所が増えてきた時代でした。

発行 堺観光ボランティア協会

会長 吉良 隆司

〒 590-0985 堺市戎島町3-22-1

TEL 072-233-0531 fax 072-233-0831

e-mail sakaikvk@axel.ocn.ne.jp

URL <http://www7.ocn.ne.jp/~sakaikvk/>

* 妙国寺での定点ガイドが始まりました

懸案でありました活動場所の拡大施策の一環として、次の通りの要領で妙国寺での定点活動が9月22日より始まりましたのでお知らせします。

活動日 毎週火曜日、木曜日、土曜日

活動時間 10時より6時30分まで(午前～午後 通し)

活動人員 各日1名

活動員は、お寺さんの要請により少人数の限定となりますので、当面の配置は、ガイド部主導で人選し、活動を開始しました。

* IT初心者講習会継続のお知らせ

一時中断の予定だった「IT初心者講習会」は、一部の熱心な方のリクエストがあり、10月も継続実施することになりました。また、当初の目的でもあった「全会員がパソコンを使えるように」の実現のためにも継続が必要です。

毎週土曜日3時から堺駅観光案内所で行います。

マンツーマンに近い形で実施し、一人でも多くの会員の方にマスターして頂くために、一回で1～2名に絞って勉強していただきたく、希望の方は事前に駒走研修事業部長にご連絡下さい。

* 観光案内外国人対応プロジェクト発足

去る8月24日(金)に第1回の表記会議を開催したところ、15人もの参加者がありました。当日参加出来ないが興味があるとのご連絡のあった人を入れると総勢24名が登録されました。

第1回ということで、集まって頂いた方々から皆さんの思いをご意見として聞くことが主体となりましたが、この会議で決まったことは下記の通りです。

1. 誰でもが外国人と対応できるマニュアルを作る
2. 毎月1回会議を持つ
3. 次回に会の名前を決める
4. 興味のある方は誰でも参加できる
5. 今後2年以内に外国人をガイドして観光案内をするためのしっかりしたマニュアルを作る
6. 次回開催時に今後の方針を決めてゆく

次回は9月30日(金)に実施します。興味のある方は是非次回参加してみてください。お待ちしております。堺市総合福祉会館2階ミーティングルームにて午後2時から4時までを予定しています。

広報企画部 呉竹 正

* 携帯電話番号の登録お願い

多忙な会員が多くて、家庭への電話では会員への連絡が取れない事が多く、急用時に困惑しております。携帯電話番号の公開に不都合がない方は、是非、今月配布の活動予定表の所定欄に記入して事務局に登録をお願いします。

〈記念号発行に当たって〉
この記事は第 103 号 (2005 年 12 月) のものです。
携帯電話が広まった時期です。

事業部ニュース

* 堺大魚夜市に関して

7 月 31 日、大浜公園にて堺大魚夜市が開催されました。真夏の太陽が燦々と降り注ぐ中、ブース担当が来場される方々にイベント案内のチラシを汗一杯になりながら配布し、広報、撮影担当が取材に走り廻り、夏本番の祭りが最高潮に達しました。太陽が西に沈む 7 時から威勢の良い呼び声と共に魚のセリが始まり、可愛いエンジェルさん達がセリ台で魚を手に来場される方々に如何ですかと声をかけ、私達観光ボランティア協会も負けじと声を張り上げ売り手に徹しました。今年は大阪観光大学の学生さん達 11 名も加わり若い力で威勢よく売りさばき、8 時半頃には完売しました。お世話になった堺コンベンション協会の皆様に挨拶を済ませ、まだまだこれからよと賑やかな夜店の間を通り抜け帰路につきました。暑い中、堺大魚夜市にご協力いただいたスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。有難うございました。



〈記念号発行に当たって〉
この記事は第 148 号 (2009 年 9 月) です。
大魚夜市で魚屋さんまでやっていたのですね。バイタリティーの塊！！

〈記念号発行に当たって〉
この記事は第 150 号 (2009 年 11 月) です。
観ボラのこんな“神対応”もあったのですね。

* ガイド日記

「台風が連れてきた、修学旅行生」

吉良・石原・呉竹

10 月 8 日久しぶりに近畿地方に上陸した台風 18 号に遭遇した福井県坂井市立平章小学校 6 年生 70 名の皆さんが、「リーガロイヤルホテル」で足止めされてしまいました。さあ大変！

10 月 7 日の夜 7 時過ぎに、ホテルから観光部を通じ、堺観光ボランティア協会に要請があり、翌 8 日午前 9 時から 3 名がリーガロイヤルホテルで、俄仕立ての堺の観光案内をしました。

吉良相談役には「堺と坂井の語呂合わせ」で堺の地名のおこりなどのお話を 20 分間。そのあと堺を PR する観光部発行の DVD を 20 分間ハイビジョン画面に上映。次に、堺の観光マップを使って、クイズ形式で堺の魅力をみんなで一緒に勉強。最後に DVD で「これぞ堺観光ボランティア」を 15 分間上映し、午前中の京都見物の時間を堺の観光で肩代わりしました。

皆さんとっても喜んでくれました。午後からは予定通り奈良に向けて出発されました。子供達にはまたとない経験だったのではないのでしょうか。私たちもいい体験をさせていただきました。



利休の間



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース

12月号(通算151号)
2009年(平成21年)12月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会

理事長 高三 壽次郎

〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-24

(博愛ビル1F) Tel & fax 072-233-0531

e-mail : sakaikvk@axe1.ocn.ne.jp

URL : <http://www7.ocn.ne.jp/~sakaikvk/>

～歴史の街・堺 庭園の美を追う～
堺秋季文化財特別公開
10/30(金)～11/8(日)



今回の延べ来場者数は、21,000人を超えて好評裡に終了しました。初公開の月蔵寺や覚応寺に加え、堺の伝統産業である刃物、線香、昆布などの職人芸の見学や町家の公開も行われました。当協会スタッフもおもてなしの心をもって、案内をさせていただきました。

“見所一杯”大安寺！ [田岡 美賀恵]

大安寺の午後からのディレクターとして前期公開の5日間、配置につきました。何時もはひっそりと門を閉ざしている大安寺も公開される素晴らしい重要文化財の襖絵を一目見ようと朝から次々と参道に入ってこられる参拝者、好天に恵まれ連日ひっきりなしのお客様を迎えて2部屋づつ担当するガイドの方の説明も途切れる間なく休憩もままならぬ毎日でした。

お庭の担当の方も開山堂と庭の掛け持ちで日の照る中大変だった事と思います。ご住職もお客様の御案内をされたりお忙しそうでした。遠方からのお客様もこのような狩野派の襖絵は、ほとんど京都の博物館ぐらいでしか見る事が出来ませんと、期待一杯で訪れたようです。

また、ルソン助左衛門の旧宅の材を移して建てられた、書院造りの本堂も立派です。

ガイドを担当される方もお客様の期待を裏切らないよう懇切丁寧にご案内されていました。

鶴の間、猿猴の間では、鶴や猿を一生懸命にかぞえられる方の姿も微笑ましく、お庭を見終わられてお帰りになる時はみなさん笑顔でこのお寺にこんなに沢山の見所があるとは知らなかった、又訪れたいとご満足そうでした。さすが堺観光ボランティアガイドの案内と自画自賛する日々でした。

担当していただきましたガイドの皆様、本当にお疲れ様でした。有難うございました。



“文化財特別公開を振り返る” [村田 信彦]

今回の特別公開は、全期間を通じて、少し暑さは残っていたものの好天に恵まれ、大変好評で、過去2回を上回る市民の注目を集めました。公開期間の変更や新しく公開されたところなど話題も提供しました。このことは、大変嬉しく思っています。

〈記念号発行に当たって〉

この年は今では考えられない、なんと10日間開催の秋季文化財特別公開でした。この年に月蔵寺、覚応寺が文化財特別公開のデビューをしました。大安寺の襖絵は大好評であったとのこと。しっかりと案内でさらに盛り上がったのでしょ。



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
2月号(通算201号)

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 高三 壽次郎
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-24
(博愛ビル1F) Tel & fax 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://www7.ocn.ne.jp/~sakaikvk>

新春恒例の「新年祝賀会」が、1月9日(木) 12時より、ホテル・アゴーラリージェンシー堺でご来賓10名と会員135名の参加で、盛大に開催されました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



売り込みまで持っていくことが重要です。

どうか今年も皆様の絶大なるご協力をお願い致します。また、ご来賓の皆様方には倍旧のご指導ご鞭撻をお願い致します。

次に、ご来賓の堺市文化観光局局長の志摩哲也様から、平成27年3月に、利休、晶子の検証施設として歴史文化にぎわいプラザが完成します。偉大な利休、晶子は世界に発信していくべき人物であり、また、行基、三吉、慧海らの先人も検証することも行政として、堺市として責務であります。百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録については、平成29年の登録を目指します。百舌鳥・古市古墳群の歴史的価値は世界

〈記念号発行に当たって〉
2014年の2月号の表紙、新年会の記事の部分です。
下はこの頃のニュースに掲載された堺祭りの懐かしいスナップ写真です。



2014年(平成26年)の時代行列



2010年(平成22年)の堺祭り参加者



2015年(平成27年)の時代行列



2014年(平成26年)



NPO 法人
堺観光ボランティア協会ニュース

4月号(通算251号)
2018年(平成30年)4月1日発行

発行所：NPO 法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町ビル4F)
Tel & Fax：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：http://www.nposakai.org

明治150年！！
文化財特別公開で堺を満喫

今年は明治150年に当たります。平成30年春季堺文化財特別公開は、その明治150年と春爛漫の堺に焦点をあて、4月5日(木)から8日(日)までの4日間開催されます。テーマはズバリ「明治150年！サクラ咲く堺を満喫」です。

を提供し、そのデザインと施工技术の優秀さは評価が高く、国の登録文化財になっています。



明治天皇は、2度堺に行幸されています。時は、明治10年2月13日、明治天皇は西南の

〈記念号発行に当たって〉

日本中が「明治150年」で盛り上がった年でした。文化財特別公開も明治にスポットを当てて開催されました。玉座記念館、旧天王貯水池も公開され、おおいに盛り上がりました。案内200万人突破の年でもありました。

*** 「5月活動予定表」の活動欄に◎印を追加します**

「5月活動予定表」の活動欄に従来の“○”に加えて、定点配置でもツアーガイドでもどちらでもOKの“◎”印を記入していただく事になりました。ぜひ積極的に意思表示をお願いします。

*** ガイドお客さま数200万人達成記念品の配布**

平成30年1月にガイドお客さま数が200万人を達成しました。会員のみなさまのたゆまぬ努力の賜です。このご努力とご協力に感謝して会員に“シューズ券”を配布することになりました。配布の時期は、後日連絡致します。

*** タクシー観光の研修を実施しました**

2月24日(土)、恒例のタクシードライバーさんの堺観光について研修を行いました。今回は第一交通グループのドライバーさん達が対象でした。午前には堺の観光についての座学で、午後からはガイドが同乗して、古墳を中心に事前に出題されていた観光スポットを回りました。皆さん大変熱心に取り組んで頂いて、こちらも力が入りました。ドライバーさんの参加は35名でした。

*** ぐるっと堺勉強会を実施しました**

3月1日(木)と6日(火)に、実施しました。日頃あまり行くことのない美原と泉北方面の勉強会でした。コースは、美原の法雲寺、みはら歴史博物館、土塔、ハーベストの丘、法道寺、櫻井神社、両日とも天候に恵まれて、それぞれのお寺や神社では、住職さんや宮司さんにお話をしたり、みはら歴史博物館では、学芸員の方から説明を受けました。車中では、先輩から色々ガイドに関するアドバイスを受けました。堺には旧市街とはまた違った文化があることも再確認しました。参加者は両日合わせて50名でした。



NPO 法人
堺観光ボランティア協会ニュース
8 月号 (通算 267 号)
2019 年 (令和元年) 8 月 1 日発行

発行所：NPO 法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町ウエルビル 4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://www.nposakai.org>

祝「百舌鳥・古市古墳群」 「世界文化遺産登録 決定!!」
ライブビューイングでバンザーイ！大勢の市民が喜びを実感



歓声の中で大きなクス玉が割られ、金色のテープが舞った瞬間は、我を忘れるほどの感激でした。拍手と団扇の鳴る音と、バンザーイ、バンザーイに会場は包まれ、時が止まったようでした。2019 年 (令和元年) 7 月 6 日 (土) 日本時間の 17 時 30 分過ぎ、ついに「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録が決定したのです。

7500 km 近く離れた国アゼルバイジャンの首都、バクーという都市で開かれた世界遺産委員会の審議の様子が、フェニーチェ堺大ホールに大きく映し出されていました。当協会メンバー約 50 名を含む、700 人ほどの市民が見守る中、「決定しました」のアナウンス。歓声と共に一斉に光るカメラのフラッシュ、遠くのように近くに映る吉村大阪府知事と永藤堺市長の笑顔、それを舞台上で見上げる各団体の代表者の方々。会場の熱気が一気に盛り上がった次の瞬間、**ゴールドシャワー！！**皆が飛び跳ねるかのように「おめでとう！おめでとう！」と会場が一つになったようでした。

5 月 14 日、ユネスコの諮問機関イコモスの勧告内容が公表されてからは、各方面から祝福メッセージと共に、ここからがスタートです、との言葉が多く聞かれました。1600 年もの昔から今もなおこの地に存在する古墳群は、今後も必ず継承していかなければならない平和のシンボルと言えます。いたすけ古墳の、朽ちた橋に込められた不幸な歴史を二度と繰り返さないために、各人、各団体、行政が一体となって知恵を出し合わなければならないのです。世界遺産に登録された、という事は、楽しい事嬉しい事珍しい事賑やかになる事、町や市、そして府や国が活性化するチャンスを掴んだようなものです。しかし、それと同時に自然保護や管理、景観の保持と環境整備など多くの責任を果たして行かなければならないという事でしょう。

そこで、私たち「NPO 法人・堺観光ボランティア協会」が出来る事、①堺に来られたお客様に古墳群の魅力を解りやすくご案内すること。②堺の魅力を知っていただくこと。この 2 点に尽きるわけです。そのためには、錆びることなく日々研鑽を重ね、笑顔で対応。(難しいでしょうがお呪いのように)

人気の VR 体験や、古墳群を空から遊覧飛行、新しい企画ツアー、ワクワクする仕掛けが益々増えていくことでしょう。インバウンド対応のパネルや市内の案内板も充実してきているようです。私達も AI の音声ガイドに負けないように、心の通う「おもてなし」で、精いっぱいご案内いたしましょう。
(広報部・長江幸代)

〈記念号発行に当たって〉
この頃は新型コロナウイルスのことなど夢にも思わぬことでしたね。

2022 年 5 月度 広報部員



左上から 金銅(12期) 岡本(21期) 藤田(30期)

左後から 佐伯(22期) 住谷(25期) 和田(28期) 阿部(30期) 金谷(30期) 西本(30期)

左前から 生島(13期) 北野(16期) 長江副理事長(16期) 川上部長(24期) 八木(21期) 槇(21期)

編集後記

2年前コロナ禍で活動が休止になった時に、いろいろなことを考えました。

「我々の活動は勿論、イベントも研修も無い中、記事を出す題材もありません、各部からの記事もほとんどありません、協会ニュースを、しばらく連絡事項のみにしてもいいのでは？」そんな考えが頭をよぎりました。

しかしこの状況の中で協会ニュースをそのような形にしてしまったら、会員と協会の絆が無くなってしまい、協会員の気持ちも、もっとマイナスになってしまうのでは、という意見も部内で出ました。そのとおりです。こういう時だからこそ楽しい、面白い、興味深い記事を集めて発行しよう！！ということで広報部員が一致団結できました。

会員に原稿を依頼すると、皆さん喜んで投稿してくださいました。また部員がたくさん題材を探し出してくれました。堺の知られざる話もどんどん集まって来ました。そしてついに先月でこの協会ニュースは 300 号に到達したのです。たくさんの諸先輩方の努力、苦勞が築き上げた 300 号なのです。これからは更に素晴らしいニュースを発行し続けたい。多くの協会員にニュースの掲載に協力してもらいたい。

そういう気持ちを念頭に置いて、我々広報部員は頑張ってます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(第七代広報部長 川上 由)